M theory equal with AdS5 manifold,
Gamma function escort into Beta function

フェルマー型のカラビ・ヤウ多様体が、ゼータ関数を部品にしている。

$$x^a + y^b + z^c + u^d + v^e = 0, (\frac{1}{a} + \frac{1}{b} + \frac{1}{c} + \frac{1}{d} + \frac{1}{e} = 1)$$

$$x^a + y^b + z^c + u^d + v^e - 5\psi xyzuv = 0$$

そのオイラー数が、ホッジ数を経て、

$$e = 2(h^{ij} - h^{ji})$$

大域的積分多様体のガンマ関数となり、

$$\int \Gamma(\gamma)' dx_m = \int \Gamma dx_m \cdot \frac{d}{d\gamma}\Gamma \leq \int \Gamma dx_m + \frac{d}{d\gamma}\Gamma$$

Jones 多項式を形成して、

$$= e^{x \log x} + e^{-x \log x} \geq e^{x \log x} - e^{-x \log x}$$

鏡映理論となり、

$$R_{ij}' = -R_{ij}$$

ヒッグス場から、

$$\frac{d}{df}F = \frac{d}{df}\int\int \frac{1}{(x \log x)^2} dx_m + \frac{d}{df}\int\int \frac{1}{(y \log y)^{\frac{1}{2}}} dy_m$$

オイラーの定数の多様体積分を加群として、

$$\frac{d}{df}F + \int C dx_m = \int (\int \frac{1}{x^s} dx - \log x) \mathrm{dvol} = e^{-x \log x} + e^{x \log x}$$

リッチテンソルを時間における流体理論として、

$$\frac{d}{dt}g_{ij}(t) = -2R_{ij}$$

周期関数となり、

$$\frac{d}{df}F + \int C dx_m = 2(\cos(ix \log x) - i \sin(ix \log x))$$

全ては、ホッジ予想となる。

$$= 2(h^{ij} - h^{ji})$$

全ては、カラビ・ヤウ多様体が、ゼータ関数を部品とする、オイラーの定数の多様体積分として、ガンマ関数における大域的積分多様体と同型となり、ホッジ数が、５次元型フェルマー方程式における、リーマン予想を

基点にする D-brane を解にもっていく、共形場理論の鏡映理論となる、ヒッグス場方程式が、世界をプラトニックな空間を経て、スピリチュアルな空間と物質な空間における、情報の変換を成している、心の影を形成している。心理学から物理学、数学へと、情報が行き来している様が、上の式たちである。

　その結果の式が、AdS_5 多様体である。

$$||ds^2|| = e^{-2\pi T||\psi||}[\eta_{\mu\nu} + \bar{h}(x)]dx^\mu dx^\nu + T^2 d^2\psi$$

それが、$\beta(p,q) = \int e^{\sin\theta\cos\theta} \int \sin\theta \cos\theta d\theta$

$$= \frac{d}{df}F + \int C dx_m$$

$$= 2(\cos(ix\log x) - i\sin(ix\log x))$$

と、周期関数へと結論が下る。それゆえに、ホッジ予想が解決される。